

ばしふいっくびいなす
2015年12月以降のクルーズのご紹介(一例)

国内クルーズ **クリスマスクルーズ**

船内ではクリスマスを彩る華やかでワクワクするイベントが繰り広げられるほか、聖夜の晩餐にふさわしいフルコースディナーなど優雅でHAPPYなひとときをお楽しみください。

●クリスマス伊予・瀬戸内海クルーズ

2015年12月13日(日)～12月15日(火) 神戸発着2泊3日
神戸～松山～神戸 旅行代金 **87,000円**

●クリスマスクルーズ大阪

2015年12月15日(火)～12月16日(水) 大阪発着1泊2日
大阪～大阪 旅行代金 **47,000円**

●クリスマスクルーズ名古屋

2015年12月17日(木)～12月18日(金) 名古屋発着1泊2日
名古屋～名古屋 旅行代金 **47,000円**

●クリスマスクルーズ横浜B

2015年12月21日(月)～12月22日(火) 横浜発着1泊2日
横浜～横浜 旅行代金 **44,000円**

●クリスマス駿河湾・熱海花火クルーズ

2015年12月22日(火)～12月24日(木) 横浜発着2泊3日
横浜～清水～(熱海海上花火観賞)～横浜 旅行代金 **94,000円**

海外クルーズ **皆既日食・ガム・小笠原クルーズ**

太平洋の洋上での皆既日食観察と美しい海や自然が魅力の世界自然遺産の島小笠原と常夏の楽園ガムを訪れます。

2016年3月3日(木)～3月17日(木) 神戸発着14泊15日／横浜発着12泊13日
神戸～横浜～3月9日【皆既日食観覧】～ガム～小笠原～横浜～神戸

旅行代金 神戸発着 **626,000円**
横浜発着 **552,000円**

*上記、旅行代金は、ステートルームHをお二人でご利用の場合の大人お一人様代金です。その他の客室についてはお問い合わせください。

パンフレットにはご紹介以外のクリスマスクルーズや31日間のアジアクルーズ、56日間のオーストラリア・ニュージーランドサザンクロスクルーズなど多彩なコースが記載されています。

クルーズ詳細やクルーズの魅力に記載したパンフレットは32ページのハガキでも請求できます

●クルーズの詳細・お問い合わせは

日本クルーズ客船株式会社
0120-017-383

ホームページ <http://www.venus-cruise.co.jp>

びいなすクルーズ | 検索 | 広告



▲船医 横山ドクター

シニア世代ですから何かと持病を携えて乗船する方は多いですが、それが船上で急に悪くなるようなことはありません。風邪をひかれる方は時々いますね。医務室できちんと薬を処方し、関連部門(ホテル部門、食事部門等)と連携をとって対処しています。医務室では歓迎はしていませんが(苦笑)、気になることがあれば、いつでも連絡ください。

ると船旅以外考えられないね」「いろいろな人と出会うって話をすることも楽しい。この年代になると人生それぞれあるでしょう? 感動的な話や出会いが多いですね」金五さんのご主人は、かつて南極探索の船にも乗っておられた船のプロ。「家族的な船旅がクルーズかな。ようやく船旅が楽しいと思えるようになったね(苦笑)」とも。

次の約束をしているわけではない二組ですが、きっと再会の縁を強く感じておられるようです。ラウンジで夜遅くまで話は尽きないようでした。

もう一組の真瀬さんの奥さまが、実はこの航海中、風邪で発熱しダウンされたとか。回復後にお話をお聞きしてみました。「寄港地で無理したのでしょね、体調が悪くて医務室で診てもらい、2日間の安静の指示とお薬を頂きました。ドクターだけでなく、他のクルーや乗客も心配してくれて。レストラン部門からはお粥を持ってきてくださり、本当に親切にしてもらいました。主

人も安心して、他の方と食事をしたり自分の時間を持てたと思いますね」乗客がよく口にするのは「クルーズは家族的」という言葉。旅の間、乗客クルーがひとつの船の中で過ごすゆえか、ほどよい距離感が家族のように心地いいのだと思います。

家族的なクルーと乗客



▲ゲームやスポーツのチームワークですっかり意気投合



▲真瀬さんご夫妻(兵庫県)と金五さんご夫妻(三重県)

船旅での不思議な縁

二組のご夫婦カップルにお話を聞いてみました。お互い約束して乗船しているわけではないのに、過去に何度も同じ航海で出会っているとか。「不思議な縁があるんでしょね。赤い糸ではなく白い糸かな(笑)」とのこと。旅行はもうクルーズのみ、と言われるお二組にその魅力を聞いてみると、「とにかくラクのひとこと。荷物は宅配便で送っておけば、ほぼ手ぶらで旅ができるしね。若いときは、飛行機やバスを使った旅行ばかりだったけど、この年代にな

「たくさん乗客がいる中で、孤立しないだろうか」といった心配が不要なのがクルーズ旅。船室はプライベート空間ながら、二歩外に出ると同世代の乗客、クルー(乗組員)たちと和気藹々と過ごせます。食事の時は、さりげなく同じような乗客のテーブルに誘導してくれるので、自然と会話が

進みます。他にも船内イベントで同席したり、ゲームを一緒にするとたちまち旧知の仲のような感覚に。常に一緒ではない分緊張感がなく、お互い気持ちよい距離感を保てるのが、船上で仲良くなる秘訣でしょうか。

下船の日には、寂しく離れがたくなるほどの友人がきくと数人できているはず。

心に優しい船旅
大きな家族のように、旅するクルーズ



クルーズには、夫婦旅、友達旅、親子旅、兄弟姉妹旅、ひとり旅...さまざまな乗客がいますが、ほどよい距離感でたくさんの友人ができることも楽しみのひとつです。



▲ディナーでサプライズ! 厨房スタッフの行進と挨拶

すぐに仲良くなってしまう

▼ばしふいっくびいなすでは、クルーと触れ合う機会が多い